

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成17年9月8日(2005.9.8)

【公開番号】特開2000-2247(P2000-2247A)

【公開日】平成12年1月7日(2000.1.7)

【出願番号】特願平10-166799

【国際特許分類第7版】

F 16 C 33/46

【F I】

F 16 C 33/46

【手続補正書】

【提出日】平成17年3月11日(2005.3.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

即ち、上記舌片素片19の容積を舌片13aの容積に比べて過剰にしている為、得られた舌片13aに欠肉が発生する事がない。又、過剰容積分はバリ22として舌片13aの本体部分を加工する為の舌片加工用空間部25外に連続する逃げ空間26に逃がす為、上記舌片素片19の大部分で、上記舌片加工用空間部25内に留まった部分は、この舌片加工用空間部25を構成する1対の金型23a、23b同士の間で正規に押圧される。この結果、上記舌片13aの形状が不正規になったり、或は塑性加工後のスプリングバックの量が多くなる事を防止できる。尚、上記バリ22は、上記ポケット10と反対側に突出する為、このバリ22が球面ころ3の一部と干渉する等して、自動調心ころ軸受の機能を損なう事はない。